

高等学校外国語科（英語）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採点上の注意	配点		
1	No.1	Ⓐ	B C D		各 6 × 5	30	
	No.2	A	B Ⓒ D				
	No.3	A B	C Ⓓ				
	No.4	A	B Ⓒ D				
	No.5	A	Ⓑ C D				
2	A	No.1	Because their pollination activity supports biodiversity, making it the most important agro-environmental service.	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ ていてもよい。	各 10 × 4	40	
		No.2	They reduce income for beekeepers.				
	B	No.1	It is the capacity to set a goal, reflect and act responsibly to effect change.				
		No.2	They tend to show greater motivation to learn.				
3	1	①	エ		各 5 × 2	40	
		②	ウ				
	2	They call focused, repetitive practice of one thing at a time until we've got it nailed "massed".	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ ていてもよい。				10
	3	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ ていてもよい。				10
4	エ		10				
4	1	①	イ		各 5 × 3	50	
		②	ウ				
		③	ア				
	2	Because the dormant ties were effectively offering a diversity bonus.	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ ていてもよい。				10
3	<p>According to the passage, a willingness to share one's knowledge and ideas is important to successful collaboration. In addition, according to the study of the medical students, gives thrive in interdependent roles where collaboration matters. Based on these considerations, successful student collaboration is about working together to achieve a common goal by sharing each other's knowledge and ideas.</p> <p>I think there are three key elements to facilitate student collaboration.</p> <p>The first one is establishing tasks and goals that students need to work on collaboratively.</p> <p>The second one is encouraging each student to contribute their own opinions, perspectives, and skills.</p> <p>The third one is encouraging students to communicate respectfully and listen to each other's perspectives, even if they disagree in order to build consensus.</p> <p>I believe the facilitation including these elements will enhance teamwork, produce results, and lead to successful collaboration.</p>	問いを正しく捉えてい れば、内容は異なっ ていてよい。	25				

高等学校外国語科（英語）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採点上の注意	配点				
5	1	相手から自分に必要な情報を引き出すために質問をしたり、質問に対する応答を受けて更に質問したりするなどして、必要な情報の交換ができること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	10		
	2	論理的に伝え合うために、モデルなどを通して論理の構成や展開の仕方を学んだ上で、自分の意見における論理に矛盾や飛躍がないか、理由や根拠がより適切なものとなっているかなどについて留意しながら伝え合うこと。					
6	1	携帯電話によるつながりがもたらす利益と損害を考慮しながら、実際にどれだけ携帯電話でつながる必要があるかを認識すべきであること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	30		
	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">言語活動の展開</th> <th style="width: 50%;">指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○国内外の高校生のコミュニケーションツールの利用状況調査に関する記事について教師とALTが行う対話を聞き、これから読む内容を推測する。 ○〈教材〉の英文を読む目的を把握する。 ○英文を読み、ワークシートに示された表に事実と書き手の意見を整理する。 ○表に整理した内容についてグループ内で説明し合う。 ○書き手の意見やその根拠となる文を意識して、もう一度英文を読み、要点を捉える。 ○英文の要点をグループで説明し合う。 ○各グループで説明し合った内容をクラス全体で共有し、要点を捉える。 ○英文の要点を踏まえ、読んだ内容についての感想や自分の意見をクラス全体で交流する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・英文を読んだ後に、英文の要点について感想や自分の意見を交流することを説明し、読む目的を意識させる。 ・机間指導を行い、生徒が事実と書き手の意見を区別して読めているかを確認する。 ・生徒の学習状況に応じて、事実が書かれている文と意見が書かれている文のそれぞれの特徴や用いられている語句（the fact, in my opinion など）に気付くことができるように助言する。 ・各段落に書き手の意見やその根拠となる文があることに気付くことができるように助言する。 ・生徒の学習状況に応じて、書き手の意見や根拠のキーワードやキーフレーズに気付かせたり、“What does the writer cite as benefits(damage)?”と問うたりして、検討のための手掛かりを与える。 ・生徒が述べた感想や意見に対して、なぜそう思うのか発問するなどして、理由や根拠を述べるように促す。 </td> </tr> </tbody> </table>	言語活動の展開	指導上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> ○国内外の高校生のコミュニケーションツールの利用状況調査に関する記事について教師とALTが行う対話を聞き、これから読む内容を推測する。 ○〈教材〉の英文を読む目的を把握する。 ○英文を読み、ワークシートに示された表に事実と書き手の意見を整理する。 ○表に整理した内容についてグループ内で説明し合う。 ○書き手の意見やその根拠となる文を意識して、もう一度英文を読み、要点を捉える。 ○英文の要点をグループで説明し合う。 ○各グループで説明し合った内容をクラス全体で共有し、要点を捉える。 ○英文の要点を踏まえ、読んだ内容についての感想や自分の意見をクラス全体で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を読んだ後に、英文の要点について感想や自分の意見を交流することを説明し、読む目的を意識させる。 ・机間指導を行い、生徒が事実と書き手の意見を区別して読めているかを確認する。 ・生徒の学習状況に応じて、事実が書かれている文と意見が書かれている文のそれぞれの特徴や用いられている語句（the fact, in my opinion など）に気付くことができるように助言する。 ・各段落に書き手の意見やその根拠となる文があることに気付くことができるように助言する。 ・生徒の学習状況に応じて、書き手の意見や根拠のキーワードやキーフレーズに気付かせたり、“What does the writer cite as benefits(damage)?”と問うたりして、検討のための手掛かりを与える。 ・生徒が述べた感想や意見に対して、なぜそう思うのか発問するなどして、理由や根拠を述べるように促す。
言語活動の展開	指導上の留意点						
<ul style="list-style-type: none"> ○国内外の高校生のコミュニケーションツールの利用状況調査に関する記事について教師とALTが行う対話を聞き、これから読む内容を推測する。 ○〈教材〉の英文を読む目的を把握する。 ○英文を読み、ワークシートに示された表に事実と書き手の意見を整理する。 ○表に整理した内容についてグループ内で説明し合う。 ○書き手の意見やその根拠となる文を意識して、もう一度英文を読み、要点を捉える。 ○英文の要点をグループで説明し合う。 ○各グループで説明し合った内容をクラス全体で共有し、要点を捉える。 ○英文の要点を踏まえ、読んだ内容についての感想や自分の意見をクラス全体で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を読んだ後に、英文の要点について感想や自分の意見を交流することを説明し、読む目的を意識させる。 ・机間指導を行い、生徒が事実と書き手の意見を区別して読めているかを確認する。 ・生徒の学習状況に応じて、事実が書かれている文と意見が書かれている文のそれぞれの特徴や用いられている語句（the fact, in my opinion など）に気付くことができるように助言する。 ・各段落に書き手の意見やその根拠となる文があることに気付くことができるように助言する。 ・生徒の学習状況に応じて、書き手の意見や根拠のキーワードやキーフレーズに気付かせたり、“What does the writer cite as benefits(damage)?”と問うたりして、検討のための手掛かりを与える。 ・生徒が述べた感想や意見に対して、なぜそう思うのか発問するなどして、理由や根拠を述べるように促す。 						